



2020年5月15日

各 位

会社名 セーラー万年筆株式会社
代表者名 代表取締役社長 比佐 泰
(コード番号 7992 東証 第二部)
問合せ先 取締役管理部長 米澤章正
(TEL 03-3846-2651)

新型コロナウイルス感染症の影響に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社の現況及び業績への影響につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当社の現況

現在までのところ、当社従業員、国内外関連会社従業員に新型コロナウイルス感染の判明はありません。

文具事業におきましては、本社・各営業支店では、従業員が、テレワークもしくは交代勤務を行っております。一方、文具の主力工場である広島県呉市の天応工場は、通勤にできるだけ公共交通機関を利用しないこと、マスクの着用や手洗い、うがい、検温、作業者間の距離をとるなど必要な対策を実施したうえで、通常稼働を続けております。また、ロボット機器事業の東京都青梅工場につきましても、同様に必要な対策を実施しながら通常稼働を続けております。

2. 第1四半期累計期間（2020年1月1日～3月31日）の業績

当第1四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年3月31日）における当社グループの売上高は12億7千3百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益28百万円（前年同期営業利益0百万円）、経常利益30百万円（前年経常損失0百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益25百万円（前年同期比412.7%増）となりました。

セグメントの状況は次の通りです。

（文具事業）

文具事業につきましては、昨年末に発売した「花いろづき」ボールペンや米国の雑誌で「もっとも書き心地の良い万年筆」として受賞した「プロフェッショナルギヤ オーシャン」万年筆などの販売が好調に推移していましたが、2月以降は新型コロナウイルス感染症流行による文具販売店の休業などの影響を受けて、売上高は8億6千7百万円（前年同期比8.7%減）となり、セグメント損失7百万円（前年同期セグメント損失2百万円）となりました。

（ロボット機器事業）

ロボット機器事業につきましては、医療機器や食品容器製造用の特注装置が堅調で、売上高4億6百万円（前年同期比22.5%増）、セグメント利益3千5百万円（前年同期セグメント利益2百万円）となっております。

3. 当期の業績予想

国内における新型コロナウイルス感染症は収束傾向にあるものの、海外では拡大が続いている国もあり、特定警戒都道府県では緊急事態宣言も継続しております。このような状況の下、今後の業績を合理的に見積もることは困難であるため、2020年2月14日に発表いたしました当期業績予想は据え置きさせていただき、今後、新型コロナウイルス感染症の影響を精査し、合理的な見積もりが可能になり次第公表いたします。

以上